

## ぼくの昆虫ノート

島岡 優 (神戸親和女子大学附属親和幼稚園)

### はじめに

ぼくは昆虫が大好きです。お父さんとお母さんに手伝ってもらいながら、日付、場所、気温、見た虫の名前、気が付いたことなどをノートに書きました。  
 2018年3月12日から2019年1月20日までの40ページになりました。  
 全320種類の虫、2125個の記録となっています。

### 気づいたこと・わかったこと

- ・おりがみで折ったチョウにアゲハなどのチョウが寄ってきた。
- ・オオシモフリスズメガの幼虫は、シュッシュュッとなく。
- ・この夏は、ナナフシをよく見かけた。
- ・エダナナフシのちぎれた脚は脱皮をすると戻る。
- ・キタキチョウは3月から12月まで飛んでいた。
- ・マルタンヤンマは、夕方に水辺の近くを飛ぶ。
- ・オオムラサキの雄は、山頂でツバメとトンボも追いかけていた。
- ・顕微鏡でアリジゴクを見ると顔の模様が面白い。
- ・ゴホンダイコクコガネはちょうど良い硬さの牛ふんにいた。
- ・昆虫を調べると植物のこともよくわかる。

4/16 ~ 4/22		4/23 ~ 4/29	
ヤマトギがまんかい アキグミ		ナニナハをたたくみかする たたくまごもつる	
ゆりのきだい 15℃くら モモトハネキリ モモトハネキリ	キタキチョウ アゲハ カマキリ ヒシバツ	ナニナハ アキグミ ヒシバツ モモトハネキリ モモトハネキリ ヒシバツ	ナニナハ アキグミ ヒシバツ モモトハネキリ モモトハネキリ ヒシバツ
ひらたけいけ 16℃ キタキチョウ モンキチョウ ツバメ ヒメハナ カマキリ	ナニナハ アキグミ キタキチョウ アゲハ ヒシバツ モモトハネキリ	ナニナハ アキグミ ヒシバツ モモトハネキリ モモトハネキリ ヒシバツ	ナニナハ アキグミ ヒシバツ モモトハネキリ モモトハネキリ ヒシバツ
ありまふじ 19℃ ベニシジミ キタキチョウ モンキチョウ ツバメ	ナニナハ アキグミ キタキチョウ アゲハ ヒシバツ モモトハネキリ	ナニナハ アキグミ ヒシバツ モモトハネキリ モモトハネキリ ヒシバツ	ナニナハ アキグミ ヒシバツ モモトハネキリ モモトハネキリ ヒシバツ
ありまふじ 25℃ アゲハ キタキチョウ モンキチョウ ツバメ	ナニナハ アキグミ キタキチョウ アゲハ ヒシバツ モモトハネキリ	ナニナハ アキグミ ヒシバツ モモトハネキリ モモトハネキリ ヒシバツ	ナニナハ アキグミ ヒシバツ モモトハネキリ モモトハネキリ ヒシバツ

4/16 ~ 4/29までのノート



**バタフライパーティー** ← ぼくがそう言っています。

夏の夕方に有馬富士山頂では、チョウがたくさん集まっていました。そこで観察をしていると、種類によって飛ぶ高さがちがうことに気が付きました。

高い所に、アオスジアゲハ、ゴマダラチョウ、オオムラサキ、中間の高さにスミナガシ、アオバセセリ、また林間部に黒いアゲハ、明るい低木付近でナミアゲハやキアゲハ、地面にはアカタテハがとまっていた。これは、翅の色に関係しているのではないかと思う。

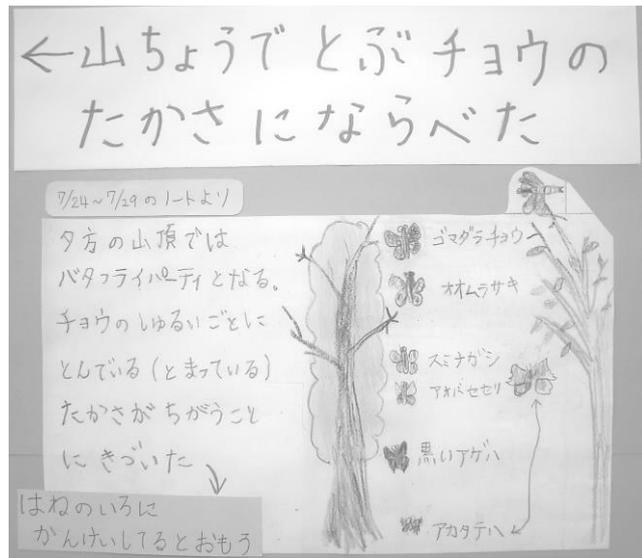


図1 山頂で飛ぶチョウの高さ

**ゴマダラチョウのなぜ**

ゴマダラチョウの幼虫は、冬になるとエノキの根元の落ち葉にいるが、どうやって降りてきたのか？

- ① 葉にくっついたまま、落葉するとき一緒に落ちる。
- ② 寒くなってくると木の幹を歩いて、地面に落ちているエノキの葉の裏に隠れる。
- ③ 他の方法で降りてくる。



図2 幼虫の降り方はどっち？

**感想**

このノートは僕の宝物です。大変だったけど、頑張りました。これからも続けていきたいです。お世話になった皆様にお礼申し上げます。